

基本目標3 生涯にわたり学び続ける環境と地域ぐるみで子どもを支える体制を整えます

誰もが輝く幸せな人生を送るために生涯にわたり学び続ける環境とともに、地域と学校が互いに担うべき役割を果たしながら、育てたい子どもの姿を共有し、地域全体で未来を担う子どもたちを育て、支えていく体制を整えます。

(1)「基本目標3」の実現に向けた、現状と課題の整理

【現状】

《施策の柱 3-1 関連》

- ・宇部市デジタルミュージアムを開設し、本市の文化財や記録写真を展示・公開するとともに、文化財展を開催することで、文化財の活用や周知を図っている。
- ・第五次宇部市総合計画アンケート調査によると、子どもたちを、地域を担う人材に育てていくために重要なこととして、「豊かな心や郷土愛をはぐくむ教育が必要である」との回答が上位に入っている。

《施策の柱 3-2 関連》

- ・地域全体で子どもを見守り育てるふれあい運動等の推進により、小中学生の万引き人数が年々減少する一方で、高齢化等に伴い地域の人材不足が深刻化している。
- ・コミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校づくり」が進められる一方で、学校運営協議会委員の高齢化等による活動の停滞が見られる。
- ・核家族化や人間関係の希薄化を背景に子育てに関する悩みや不安等の問題を抱えている保護者が増加している。
- ・小中学生とともに、非生活困難層に比べ、生活困難層で授業の理解度が低くなっている。

《施策の柱 3-3 関連》

- ・高齢化や地域連帯感の希薄化、またコロナ禍などにより、地域の社会教育活動が停滞している。

《施策の柱 3-4 関連》

- ・読書が嫌いな子どもの割合は、小学2年生で約1割、中学2年生で約3割と、年齢が上がるにつれて、読書嫌いな子どもが増えている。



【課題】

《施策の柱 3-1 関連》

- ・従来の企画展に加え、宇部市デジタルミュージアムを活用することで、郷土の特色や文化財を広く市民に周知するとともに、本市の歴史や文化へのより一層の興味・関心を高める必要がある。

《施策の柱 3-2 関連》

- ・女性・若年委員等地域の多様な人材を活用することで、学校運営協議会を持続可能な組織へと改変し、コミュニティ・スクール活動の活性化を図る必要がある。
- ・子育て支援拠点施設の機能の充実や、関係機関との連携した相談機能の強化が必要である。
- ・生活困難家庭の子どもたちの学習支援や、子どもを支える家庭への支援が必要である。

《施策の柱 3-3 関連》

- ・地域で主体的に行動できる人材の発掘や育成につなげていくため、社会教育推進体制を強化していくとともに、コロナ禍においても学びが継続できるような支援が必要である。

《施策の柱 3-4 関連》

- ・子どもが読書に親しむきっかけづくりに向けて、保護者への意識啓発、家庭での読書の実践が必要である。

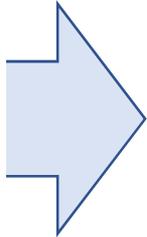
(2) 現状と課題を踏まえ、基本目標3で取り組む施策と目標指標について

施策の柱 (連携する主体)	個別施策
3-1 文化財の保護や活用を推進します <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px 5px;">地域</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">市</div> </div>	1 文化財保護事業 2 文化財活用推進事業 3 宇部市史編さん事業
3-2 地域と連携し、 子どもたちの健全育成を推進します <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">学校</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px 5px;">家庭</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px 5px;">地域</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">市</div> </div>	1 コミュニティ・スクール推進事業 ≪重点8≫ 2 学校教育支援活動ボランティア事業 3 家庭教育推進事業 4 放課後子ども教室推進事業 5 子育て支援拠点事業 6 子育て世代包括支援センター事業 7 子どもの貧困対策の推進 8 ふれあい運動推進事業 9 青少年の健全育成推進事業
3-3 生きがいを感じる機会の提供と、 社会教育の充実を図ります <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">学校</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px 5px;">家庭</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px 5px;">地域</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">市</div> </div>	1 社会教育関係団体支援事業 2 ユネスコ活動支援事業 3 社会教育推進事業 ≪重点9≫ 4 宇宙教育推進事業 5 まちづくりサークルの運営 6 社会人権教育推進事業
3-4 読書のまちづくりを推進します <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">学校</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px 5px;">家庭</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px 5px;">地域</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px 5px;">市</div> </div>	1 図書館の運営事業 2 子どもの読書活動推進事業 3 学びの森くすのき運営事業

基本目標3に関連するSDGs



	目標指標	現状値 令和3年度末	目標値 令和8年度末
3-1	文化財を活用したイベント等の参加者数(人)	13,000	15,500
3-2	地域をよくするためにできることを考える児童生徒の割合(%)	小学校 51.5 中学校 51.4 (令和2年度)	小学校 60 中学校 60
	放課後子ども教室への年間参加児童数(人)	9,717(令和2年度)	22,000
	子育て支援拠点施設利用者数(人)	30,645(令和2年度)	70,000
	刑法犯少年(小中学生)の人数(人)	9(令和2年度)	0
3-3	地域学校協働本部活動の参加者数(人)	—	1,000
3-4	市立図書館・学びの森くすのきの来館者数(人)	270,513(令和2年度)	480,000
	子ども(0~18歳)1人当たり 児童図書貸出冊数(冊)	20.5	35.0



(3) 各施策の取組

【施策の柱 3 - 1】文化財の保護や活用を推進します

■ <3-1-1> 文化財保護事業

文化財の愛護活動を推進するとともに、地域の新たな文化財を掘り起こすことで、地域の大切な文化遺産を次世代へ継承していきます。

■ <3-1-2> 文化財活用推進事業

文化財展の開催や、「宇部市デジタルミュージアム」の活用などを通じて、本市の貴重な地域資源である文化財への愛着心を育成します。

■ <3-1-3> 宇部市史編さん事業

市制施行 100 周年に至るまでの宇部市史を編さんし、宇部市の歴史を後世に伝えていきます。あわせて「宇部市デジタルミュージアム」でのデジタル化にも取り組みます。

また、宇部市 100 年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、ふるさとへの誇りや愛着心を育んでいきます。



宇部市デジタルミュージアム

令和 3 年 4 月に開設した、宇部市の文化財や写真資料を、インターネットを通じて公開しているデジタル博物館。

【施策の柱 3 - 2】

地域と連携し、子どもたちの健全育成を推進します

■ <3-2-1> コミュニティ・スクール推進事業

重点的取組 8

コミュニティ・スクールの3つの活動の柱である「学校運営、学校支援、地域貢献」を地域と協働して推進し、特色ある学校づくりを進めます。

- 1 学校運営協議会への多様な人材の参画を促すことで、活動の活性化を図りながら、子どもたちの9年間の学びと育ちを支援する取組を充実していきます。
- 2 活動の柱の中でも特に「地域貢献」活動については、年間計画に明確に位置付け、子どもと大人が協働した活動の推進を図ります。
- 3 地域連携教育企画員等による学校訪問や研修会の開催、市ウェブサイト等を活用したコミュニティ・スクールの取組の情報発信により、各学校の活動支援や成果の普及・啓発に取り組めます。

■ <3-2-2> 学校教育支援活動ボランティア事業

各校の学校便りやウェブサイト、各地区の地区だより等を活用し、ボランティアの募集・活動状況の発信を行うなど、ボランティア活動の充実を図ります。

学校運営協議会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校と地域が一体となった学校づくりを進めるために設置される機関。学校、保護者、地域住民などが委員となり、学校運営、学校支援、学校評価について協議を行う。

学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼ぶ。

地域連携教育企画員

地域住民が学校内外で子どもたちの教育に積極的に関わることができるような仕組みづくりを進めるために配置する職員。社会教育の専門的知識や経験を活かし、実際に学校運営協議会の会議などに立ち会いながら、地域連携教育活動に関するアドバイスや、先進的な事例の情報提供など、それぞれの学校・地域の実情やニーズに応じた活動を行う。

■ <3-2-3> 家庭教育推進事業

保護者の学びや、子育ての悩みや不安等の解消に向けた支援を行うとともに、レスパイトや仲間づくり等を目的とした活動を支援していきます。

■ <3-2-4> 放課後子ども教室推進事業

放課後や土日、長期休暇等に、地域の参画を得ながら、様々な文化活動や体験活動、地域住民との交流活動等を開催し、地域社会の中で子どもの社会性や自主性を育くみます。

英語や宇宙、プログラミング等の特色ある事業に取り組み、放課後子ども教室事業の充実を図ります。



レスパイト

「一時的休息」、「ひとやすみ」のこと。

ここでは、保護者の心身疲労の防止や、自分のための時間づくりを目的に行われる活動を指す。

■ <3-2-5> 子育て支援拠点事業

子育ての孤立化を防止し、育児不安を解消するために、子育て支援施設の機能の充実を図ります。また、中心市街地に安心・安全な子どもの居場所となる子育て支援拠点施設の整備を進めます。

■ <3-2-6> 子育て世代包括支援センター事業

妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップサービス拠点(名称Ubeハピ)において、親子健康手帳(母子健康手帳)交付時から、子育て期まで、切れ目ない支援のために、関係機関との連携をさらに強化します。

■ <3-2-7> 子どもの貧困対策の推進

子どもたちが、社会で生きる力を身につけるための学び場づくりや、安心・安全に過ごせる居場所づくりに取り組みます。また、子どもを支える家庭への支援や、支援が必要な子どもをつなぐ仕組みをつくります。

■ <3-2-8> ふれあい運動推進事業

地域と関係機関が一体となった家庭等への働きかけ、ふれあい運動の推進、青少年の規範意識の向上・居場所づくりを進めていきます。

■ <3-2-9> 青少年の健全育成推進事業

青少年を様々な犯罪から守るため、規範意識の向上を図り、トラブルの加害者にも被害者にもさせないための取組を推進していきます。また、青少年問題協議会を中心に、青少年の健全育成の推進を図ります。

【施策の柱 3 - 3】

生きがいを感じる機会の提供と、社会教育の充実を図ります

■ <3-3-1> 社会教育関係団体支援事業

宇部市PTA連合会や宇部市婦人会協議会等の社会教育関係団体が行う社会教育活動を支援します。

■ <3-3-2> ユネスコ活動支援事業

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の理念に基づき行われる、ユネスコアクション(世界寺小屋募金活動)や国際理解のための英語暗唱弁論大会などを支援していきます。

■ <3-3-3> 社会教育推進事業

重点的取組 9

市内すべての地区に設置している社会教育推進委員会の活動を支援・充実させることで、地域の社会教育活動を促進していきます。また、社会教育活動を通して、学びの成果を活かして地域で行動できる人材を育成し、住民同士による主体的な地域づくりにつなげていきます。

- 1 全てのふれあいセンターに社会教育推進委員会を設置し、地域の社会教育活動を促進します。
- 2 社会教育推進体制を強化するとともに、活動拠点の充実のための支援を実施します。
- 3 ふれあいセンター職員や社会教育推進委員等を対象とした研修会を開催するなど、関係者の資質向上に努めます。

社会教育推進委員会

教育活動の一層の充実を図るため、社会教育活動の企画・実施に関することに加え、地域と学校の連携・協働に関することについても取組を進めるために設置する機関。

本委員会は学校支援の要望調整や学校の地域貢献活動の地域側の総合窓口である「地域学校協働本部」としての機能を果たすと同時に、社会教育推進委員は、地域と学校とを結ぶ地域コーディネーターとしての役割も担う。

■ <3-3-4> 宇宙教育推進事業

プラネタリウムや天体望遠鏡を活用した天文教室の開催により、宇宙への興味・関心を高めていきます。また、山口大学やJAXA(宇宙航空研究開発機構)と連携したコスミックカレッジ等を実施し、宇宙教育から宇宙産業につながる人材育成をめざします。

■ <3-3-5> まちづくりサークルの運営

地域の実情に応じた独自事業の開催や、ウェブ会議の活用等により、多くの参加者を促し、複雑化・多様化する地域課題の解決に繋げていきます。

■ <3-3-6> 社会人権教育推進事業

各世代に応じ、学校、地域、家庭、職場などあらゆる場において、一人ひとりの理解と共感が得られる人権教育・啓発活動を推進します。『人権が尊重される地域づくり』を進めるとともに、幼児期からの人権意識の育成や、職場における人権への理解、企業の社会的責任(CSR)についての取組を推進します。



【施策の柱3-4】読書のまちづくりを推進します

■ <3-4-1> 図書館の運営事業

生涯学習の拠点施設として、図書館サービスの充実や情報発信力の強化を図り、利用者の拡大に取り組みます。また、移動図書館車「あおぞら号」や、まちかどブックコーナー、宇部市電子図書館により、いつでもどこでも気軽に読書できる環境を整備します。

開館から30年を経過した図書館については、利用者ニーズを踏まえ、設備面と機能サービス面の両面から、誰からも愛され役に立つ図書館へリニューアルします。

■ <3-4-2> 子どもの読書活動推進事業

子どもが楽しく読書に専念できるように、魅力的で親しみの持てる「児童図書コーナー」や、移動図書館車「あおぞら号」などによる児童図書の充実に努めます。また、市民ボランティアと協働し、読書活動推進のための啓発行事や新たなイベントの創出に取り組んでいきます。

学校図書館では、学校の新たなニーズ対応しながら「学級文庫」、「図書館文庫」の充実を図っていきます。

■ <3-4-3> 学びの森くすのき運営事業

レファレンス機能の充実や、学習活動の支援により、学ぶ楽しさや新しい発見が生まれる場所づくりを行うとともに、市民が自由に学べる環境を整備します。

また、地域資源や伝統文化を活用し、幅広い世代が交流できる拠点づくりを行っていきます。

まちかどブックコーナー

市民などから寄贈された図書を有効活用して、市内の店舗や公共施設などに設置している、いつでも、誰でも、気軽に読書を楽しめるブックコーナー。

学級文庫

図書館が学校に児童図書を持って出向き、クラス単位に貸出を行うシステム。

図書館文庫

学校が授業に活用するため、学校から提示されたテーマに基づき、図書館が選定した本を貸し出すシステム。

レファレンス機能

事実情報や文献情報を求めている利用者に対して、司書や学芸員等が資料を使って答えたり、回答の含まれる情報源を提示、照会等を行う人的サービス。

